

令和8年度
(1) 学校教育の基本方針
教育目標 「豊かな心をもち、よく遊び、健やかに伸びる子どもの育成」 ～輝き合う、認め合う子どもを育む～
目指す子ども像 ○自分で考え、行動し、自己を発揮する子ども
○自分も友達も大切に、互いの良さや違いを認め合い生かし合う子ども
○地域に親しみ、愛着をもつ子ども
経営方針
○子どもの安全と人権を守り、命を大切にする教育を土台に、家庭・地域と連携しながら、子どもを真ん中に据えた開かれた幼稚園づくりを進める。
○幼稚園生活の中で、それぞれが自己発揮し、互いの良さや違いを認め合える温かいつながりを育む。子どもが自ら関わり、夢中になって遊ぶ中で「好き」を見つけられる教育・保育環境を整え、幼保こ小のつながりや未就園児支援を生かして、学びの連続性と保育の質の向上を図る。
○学校運営協議会、PTA、おやじの会、地域の就学前施設、小・中学校等他校種の協力・参画を得て、連携を深め、役割を共有しながら、危機管理体制の充実と信頼される園運営を行う。とりわけ、幼保こ小の連携・交流により、縦横のつながりを深め、子どもの育ちと学びをつなげるとともに、保育改善に生かす。地域の子育て支援・預かり保育についても質の向上を目指す取組を進める。
○互いの持ち味を活かし、高め合える温かい教職員組織力を築き、一人一人の資質や指導力の向上を図るとともに、ワークライフバランスのとれた働き方を目指す。
具体的方策
○子どもが安心して自己発揮できるとともに、主体的に遊ぼうとする安全な環境を構築する
○日常の保育実践や園内研修を通して、人とのかかわりを通して、自ら遊びを楽しむ子どもを育成するための教師の援助や環境構成を探る
・園内外の身近な自然に触れて様々な気づきができるよう環境構成を工夫する
・幼稚園きょうだいによる異年齢交流など多様な人とのかかわりができる場をつくる
○園内研修の充実を図り、教職員が自ら学ぶ意欲をもつ
○保護者にとっての子育てのパートナーとしての役割を意識し、積極的な情報発信と開かれた幼稚園づくりを促進する
○子育て支援の取組の充実を図る。(未就園児クラス・預かり保育)
○深草小学校、深草中学校との連携、地域の諸行事の参加と地域の人材・自然の活用
○幼稚園評価を通して、自らを振り返り互いに高め合うための視点に基づいた教育を実施するとともに、学校運営協議会との連携を図る
(

